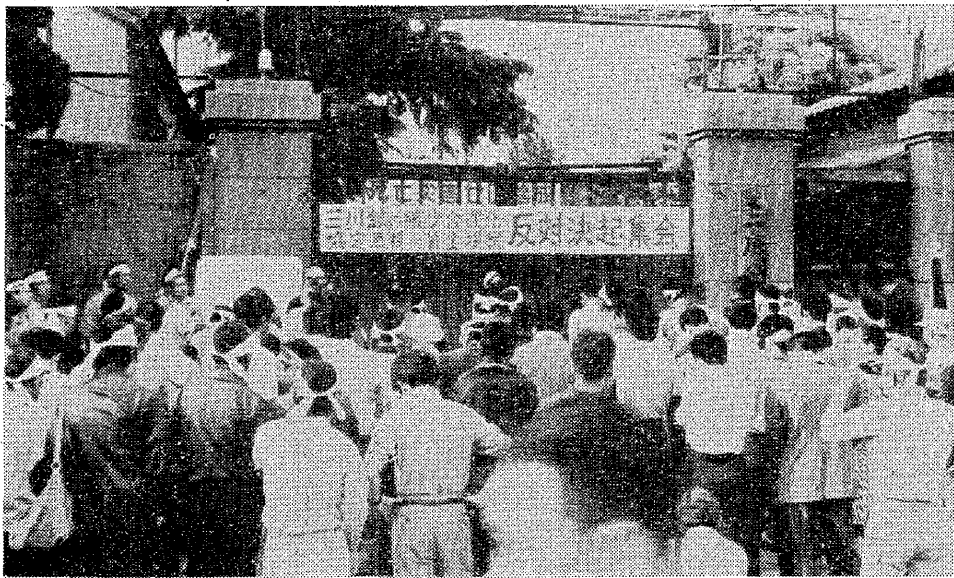


会社の棚上げ提案許さず

炭労協定守れ — 背景に減量合理化



5月10日、三川鉱正門前で怒りの決起集会を開いた。

八二番閘は低額要求、低額回答、そして結果はおおむねストなし低額妥結で終結に向かっています。炭労も六百八十円の要求に四百四十四円の妥結で終りましたが、妥結翌日二十三日、三井石炭は協定額を百八十四円下回る三百三十六円しか支払われなると申し入れ、五月十四日に中央交渉が行われます。一方港務所は、労働条件調整という月給制の見直しを六月中旬に行うとし、三池製作所は一連の合理化とともに、賞金・期末手当・退職金などについて、五月下旬の中央交渉を求めています。

三川鉱では、
①繰り込み時間の変更。
②繰り込みの繰り込みを、一回とする(現行二回繰り込み)。
③常番の繰り込みを、三回とする。(現行四回繰り込み)。
④それ以外の繰り込み時間に伴い人車ダイヤを修正する。
⑤A・B部内を廃止し統合、係長を一人とする。
⑥斜坑機械と本線機械を統合して、本線機械とする。一般機械と切羽機械を統合して、切羽機械とする。
⑦三交代三方の仕練人員のパラメータを修正する。(方変更)などとなっています。

この提案の背景には、三川鉱(野口幸光鉱長)がこんご縮小の方向であり、採用など補充は行わず、成行き人員で予算出炭を行うとともに、四山、有明を主力とする体制への移行と、減量合理化をめざしていることがあります。組合では、現状にそぐわない改善案として、要求を出し撤回を

夕張新炭鉱の再建問題で前途が憂慮される中で、四月二十八日真谷地炭鉱の桂坑北十片一番層ロング上添で、ローダー運転中側面に狭まれ、津田建雄さん(五十三歳、機械工)が死亡されました。また五月七日、空知炭鉱のマイナス二百二十メートル深部北盤下坑道で、列車操作中炭塊に敷かれ、極山久夫さん(四十八歳、運搬工)が死亡されました。

世界の屋根ヒマラヤのラムジュン(六分金・四山)らの種岡勤労働組合(六九八三メートル)の岩山岳連盟登山隊(吉野隊長とほろか二人の女性)が、登頂に成功した。

たつ九日ネパール観光省が発表した。三月中旬に出発して以来、ネパールの首都カトマンズから三十四人の編成でキャラバンを開始。ふもとのバルタンを経てベネスキヤンプと、四つの前進キャンプを建設し、五月六日にみごと登頂を果たしたものだ。

三川鉱では、
①繰り込み時間の変更。
②繰り込みの繰り込みを、一回とする(現行二回繰り込み)。
③常番の繰り込みを、三回とする。(現行四回繰り込み)。
④それ以外の繰り込み時間に伴い人車ダイヤを修正する。
⑤A・B部内を廃止し統合、係長を一人とする。
⑥斜坑機械と本線機械を統合して、本線機械とする。一般機械と切羽機械を統合して、切羽機械とする。
⑦三交代三方の仕練人員のパラメータを修正する。(方変更)などとなっています。

港務所では、
賞金上算分を三百三十六円におさえ、若年層の賞金を若干かさ上げするために、労働条件の調整を六月中旬に行いたいとしています。さらに再雇用問題も二年間にとどめ、退職金の抑制などを意図しています。

三十三億の累積赤字による非常事態であるとして、渡瀬工場の廃止・資産売却、鑛造部門の廃止、他の部門の見直しと下請関連の整理などをはじめ、文化資金の半減、作業服支給の中止、工場浴場の中止、給料の銀行振り込みの実施など、二十四項目の福利・厚生関係の削減を提案、さらに賞金・期末・退職金の切り下げを企図しています。

来年度の統一地方選挙に向けて、三池労組では四月二十七日の委員会で、熊本県と荒尾市の公認・推薦候補を確立しました。

坂本 敏雄(五十三歳・公認)
民本 清喜(六十二歳・推薦)
福川 次郎(六十九歳・推薦)
前川 哲也(四十一歳・公認)
浦池 哲夫(四十二歳・推薦)
吉田 和男(五十歳・推薦)

五月十五日、沖繩復帰から十年を経た。沖繩戦から三十七年、その傷あとが痛み、うすいていく。土地、基地、核、経済、観光、失業、教育、その現実はずべての面で犠牲と苦難のなかにあり、涙もまた深い。真の意味で復帰が必要とされるゆえであり、その革新回帰も本土の革新指向にかかっているのでは。

「国民は自分の国を守るという意識を忘れ、国家に甘え、ゆすり、たかりの対象としてしかみていない」。いつの間にかヤクザにされてしまったわれわれ。こんな大臣をもった国民こそあわれ。国会にヤクザがいたことも驚きだが、もともと本音であり、言語感覚の失せた愚民思想の持ち主に違いない。それはまた、彼ひとりであるはずもない。

空転する国会もいよいよ終盤へ。軍拡予算成立らしい国民院外の感があります。深まるばかりだが、参院全国制改憲の自民案がまかり通るかどうか。野党の筋を通す姿が見たい。老人保健法ほかの悪法などもからみ、会期延長が焦点となる。

五月十五日、沖繩復帰から十年を経た。沖繩戦から三十七年、その傷あとが痛み、うすいていく。土地、基地、核、経済、観光、失業、教育、その現実はずべての面で犠牲と苦難のなかにあり、涙もまた深い。真の意味で復帰が必要とされるゆえであり、その革新回帰も本土の革新指向にかかっているのでは。

反古とは、書き損じた不用の紙、役に立たない物事」とあり、信義とは「約束を守り務めを果たすこと」、あざむかぬこととある。基幹産業の大企業が文字通り協定破り。いまにはじまったことではないが、なりふりかまわぬ姿は相手(労働者)を無視する資本の論理にほかならぬ。

「国民は自分の国を守るという意識を忘れ、国家に甘え、ゆすり、たかりの対象としてしかみていない」。いつの間にかヤクザにされてしまったわれわれ。こんな大臣をもった国民こそあわれ。国会にヤクザがいたことも驚きだが、もともと本音であり、言語感覚の失せた愚民思想の持ち主に違いない。それはまた、彼ひとりであるはずもない。

空転する国会もいよいよ終盤へ。軍拡予算成立らしい国民院外の感があります。深まるばかりだが、参院全国制改憲の自民案がまかり通るかどうか。野党の筋を通す姿が見たい。老人保健法ほかの悪法などもからみ、会期延長が焦点となる。

三川鉱に縮小合理化が 過密人車・部内統合など 製作所は合理化、港務所は賃金

八二番閘は低額要求、低額回答、そして結果はおおむねストなし低額妥結で終結に向かっています。炭労も六百八十円の要求に四百四十四円の妥結で終りましたが、妥結翌日二十三日、三井石炭は協定額を百八十四円下回る三百三十六円しか支払われなると申し入れ、五月十四日に中央交渉が行われます。一方港務所は、労働条件調整という月給制の見直しを六月中旬に行うとし、三池製作所は一連の合理化とともに、賞金・期末手当・退職金などについて、五月下旬の中央交渉を求めています。



【その日の一番入坑】



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市入船町1番地
電話(53)3033~4
編集兼 杉本 一男
発行人
半年間 1,200円 送料共
振替口座番号
労金大牟田
0968946-005

公判お知らせ
三池大災害裁判公判
五月三十一日午後一時から、福岡地方裁判所。(43回)
坑内火災裁判公判
六月十日午後一時から、同右裁判所。(33回)

〈学習会〉
「裁判闘争の現状と展望」
日時 五月三十日(日) 午前九時
場所 大牟田市三川公民館

全国で意気高く 第53回メーデー

反核・合理化反対など目立つ

83年政治決戦へ

熊本 公認・推薦候補決める

来年度の統一地方選挙に向けて、三池労組では四月二十七日の委員会で、熊本県と荒尾市の公認・推薦候補を確立しました。

熊本県議会議員
酒井 善為(五十九歳・推薦)
荒尾市議会議員
百田 悟(四十九歳・公認)

百力所をひらかれ、約四百万人が参加しました。(中央実行委の発表)

ことしのメーデーは、大きなうねりとなっている核兵器廃絶の運動を反映して、中央はじめ各地のメーン・スローガンに「核兵器完全禁止・全面軍縮の実現」が掲げられました。

また「血のメーデー」から三十五年、憲法施行から三十五年、軍備強化、憲法改悪の動きが強まる中で、全国的に反戦、反核の気運が高まったメーデーでした。

大牟田地区では二千五百人、荒尾地区でも六百人が参加しました。「臨調路線粉砕」「減量合理化反対」などのスローガンが目立ちました。

(関連記事を二面に)

地底

「国民は自分の国を守るという意識を忘れ、国家に甘え、ゆすり、たかりの対象としてしかみていない」。いつの間にかヤクザにされてしまったわれわれ。こんな大臣をもった国民こそあわれ。国会にヤクザがいたことも驚きだが、もともと本音であり、言語感覚の失せた愚民思想の持ち主に違いない。それはまた、彼ひとりであるはずもない。

空転する国会もいよいよ終盤へ。軍拡予算成立らしい国民院外の感があります。深まるばかりだが、参院全国制改憲の自民案がまかり通るかどうか。野党の筋を通す姿が見たい。老人保健法ほかの悪法などもからみ、会期延長が焦点となる。

五月十五日、沖繩復帰から十年を経た。沖繩戦から三十七年、その傷あとが痛み、うすいていく。土地、基地、核、経済、観光、失業、教育、その現実はずべての面で犠牲と苦難のなかにあり、涙もまた深い。真の意味で復帰が必要とされるゆえであり、その革新回帰も本土の革新指向にかかっているのでは。

反古とは、書き損じた不用の紙、役に立たない物事」とあり、信義とは「約束を守り務めを果たすこと」、あざむかぬこととある。基幹産業の大企業が文字通り協定破り。いまにはじまったことではないが、なりふりかまわぬ姿は相手(労働者)を無視する資本の論理にほかならぬ。

世界の屋根ヒマラヤのラムジュン(六分金・四山)らの種岡勤労働組合(六九八三メートル)の岩山岳連盟登山隊(吉野隊長とほろか二人の女性)が、登頂に成功した。